

# 住民意識の違いが生んだ災害対応の差

2004.7.13 新潟豪雨災害



被災前:2001.7見附市税務課撮影

被災前 2001.7



被災後:2004.7.23撮影

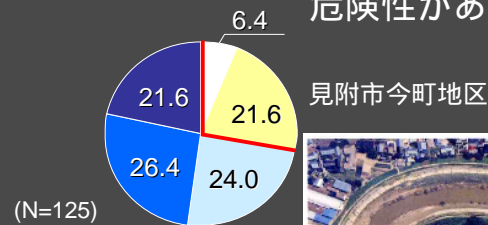
被災後 2004.7.23

# 水防活動の効果（土のう積み）



# 水害以前の水害に対する意識

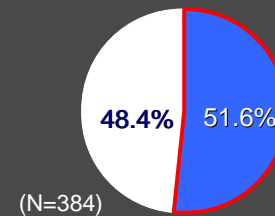
『自宅がどの程度の浸水被害を受ける危険性があると思っていたか？』



- 浸水被害はない
- 床下程度
- 1階の床が浸かる程度
- 1階の半分以上
- 家屋が押し流される

# 水防活動への参加率

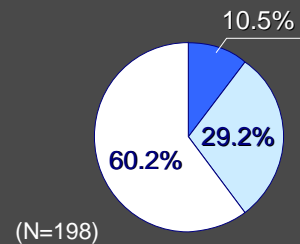
川から水があふれそうな状況を確認した世帯員はいるか？



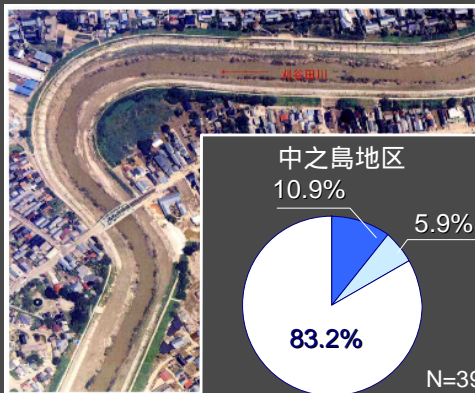
- 確認した同居世帯員がいる
- 確認した同居世帯員はいない

# 水防活動への参加率

水防活動に参加した世帯員がいるか？



見附市今町地区

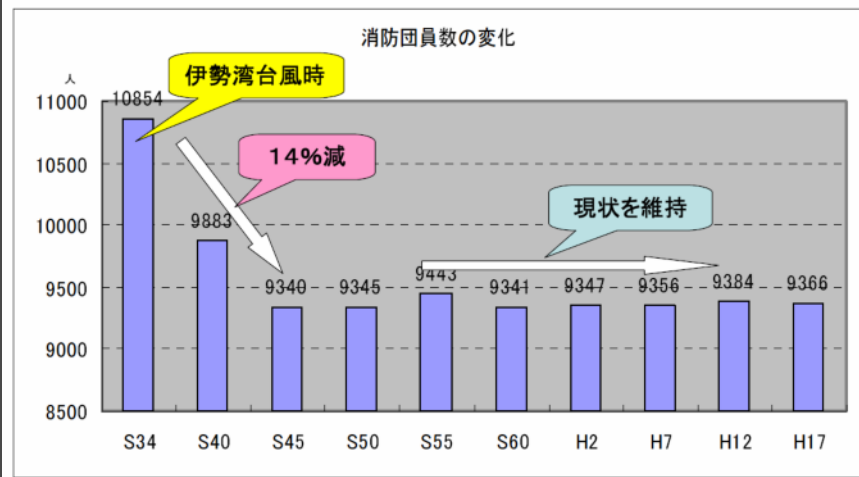


- 水防団・消防団員として参加した
- 個人として参加した
- 参加しなかった

# (参考) 滋賀県の状況

～②消防団(水防団)員数の変遷～

■ 滋賀県の消防団員数は、ここ30年間は横ばい。

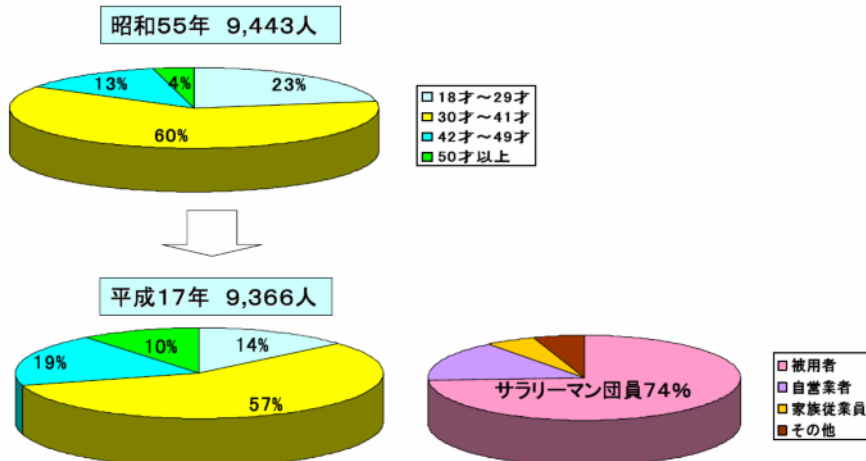


出典) 滋賀県消防年報

# (参考) 滋賀県の状況

～③消防団(水防団)員の変遷～

■ 消防団員数は維持されているものの、**団員の高齢化**が進んでいる。また最近では、**サラリーマン団員が7割以上**となっている。



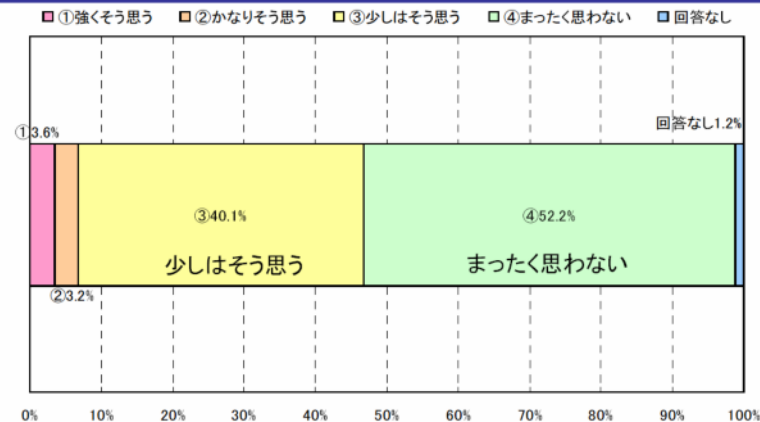
出典: 滋賀県消防年報

# 2-2 地域防災力の低下

～⑥薄れるそなえの意識～

■ 洪水による被害を受けるとは「まったく思わない」人の割合が約5割。

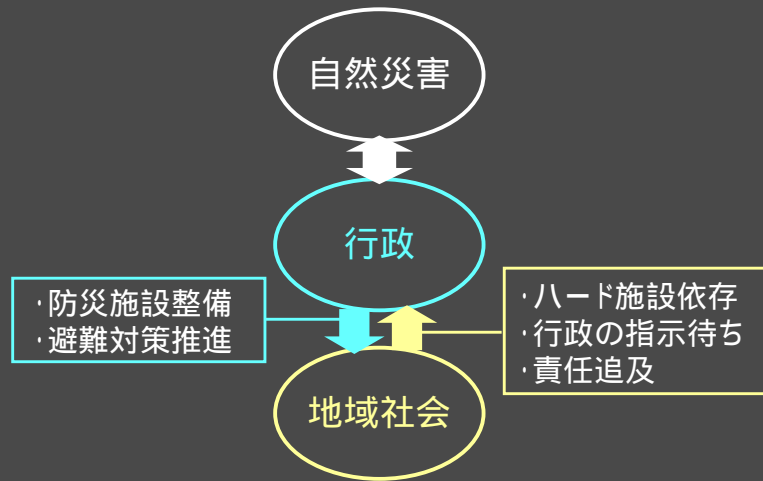
Q) あなたは、今のお住まいが今後10年以内に洪水による被害を受けるといいますか？



出典) 県政モニターアンケートH16.10 247人の回答結果

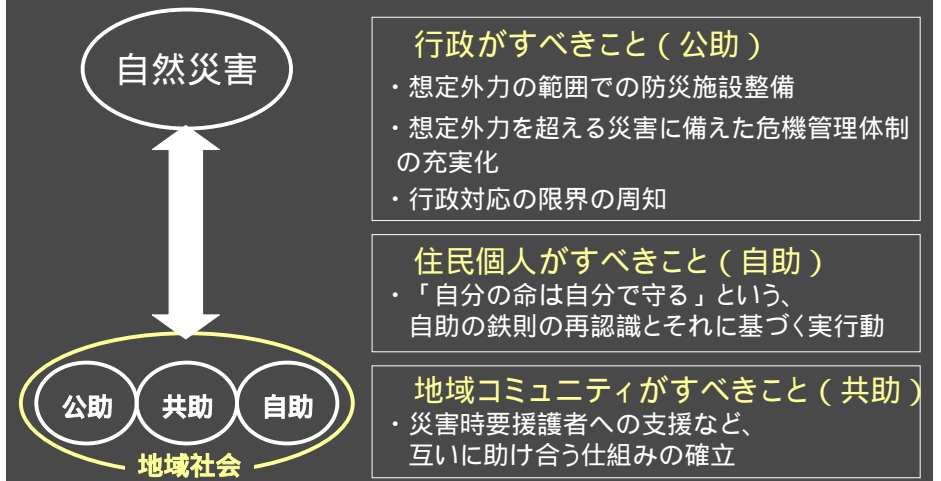
# 我が国の災害に関わる住民と行政の関係

災害に対峙しているのはあくまで行政  
住民はその庇護の下にいるという構造



# 地域防災力向上を目指して

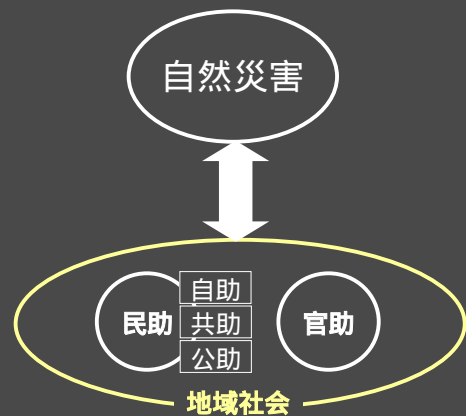
自助 = 住民、共助 = 地域コミュニティ、公助 = 行政



# 地域防災力向上を目指して

これからの地域防災の考え方

住民 = 民助、行政 = 官助それぞれが、自助力、共助力、公助力を身につけ、民助、官助が並列的に災害に立ち向かう社会の構築



# 土砂災害危険地域における災害リスクコミュニケーション

- 群馬県みなかみ町での取り組み -

